



市民ネット NEWS

No.6 発行：市民ネットワーク福岡 代表 山口 絵理佳



「街角トークライブ (共闘する党派の議員と市民によるトーク) ~みんなで語ろう、政治を~」に参加しました!

7/8 主催：市民連合ふくおか (雨のためリモート開催に変更)



市民ネットからは、二人での掛け合いトークしました。和臼干潟が、渡り鳥の中継地・越冬地として世界でも貴重な湿地であること。市民による保全活動やラムサール条約登録運動が行われていること。その和臼干潟につながる海の中道エリアで、企業によるIR (カジノ) 建設計画が水面下で進んでいること。そして、環境保全の重要性などをお伝えし「計画が実現したら自然環境に影響が出ます。これ以上自然を壊さないで!」と、東区和臼干潟のシンボル鳥ミヤコドリが鳥類を代表して訴えました。

…福岡市議会傍聴トピック… “市民に開かれた議会に!”

「政治を市民に身近なもの」にするため、本会議と委員会を傍聴しました。本会議はライブ中継と録画配信がありますが、委員会には中継がなく、会議録の掲載は匿名です。私が傍聴した経済振興委員会では、市が進める事業を業者へ委託して行う補正予算の審議がありました。「外部業者は「手数料」という名目で、働く人の賃金を中抜きしている」という所属委員 (市議) からの指摘があり、市は業者に「委託料」を支払いますが、雇用者に実際いくら支払われているのかを把握していない状況でした。企業は利益を出すために人件費を抑えます。委託業者が雇う派遣で働く人も市民です。物価高騰が続く中、臨時の仕事でギリギリの生活をしている人もいます。外部委託ではなく、市が直接雇用して少しでも多くの賃金を支払えるような制度設計をするべきと考えます。市民目線で傍聴すると、現実的な課題が見え「もっと市民の暮らしの声が届く議会や市政にしなければ!」と 思いました。

実際に足を運ぶと色々な議員がいることも分かります。議会中に離席、瞑想 (居眠り?)、靴を脱いでリラックス、ヤジを飛ばすなど…。そして、真剣に市民のことを考え、市政を良くするために働く議員がいることなどなど…。皆さまも一緒にいかがでしょうか? 1人で聴くよりも理解が深まりますよ! (市民ネットサポーター)



「市民ネットワーク福岡」

カンパとボランティアで、女性の視点、暮らしの声を政治に届ける運動を 30 年以上続けてきました。

生活って政治! 「住んでるまちを 住み続けられるまちに」市民とともに

「暮らしのための議会」を実現するため、みなさんのご意見や想いを聞かせてください。

事務所 TEL:092-662-5077 〒813-0044 福岡市東区千早 5-17-18TK ビル 2 号館 1 階

FAX:092-662-5097 Mail: fukuokahigashinet@gmail.com <http://ayako966.blog.fc2.com/>

あなたも一緒に活動しませんか? **年会費 1,000 円**



森あやこ公式ブログ